

高知県

- 木製品への加工
- 展示

【概要・アピールポイント】

- ・利活用案について、庁内関係部局等で構成するワーキンググループで検討。その後、公募型プロポーザル等によりデザインを決定。
- ・製作した木製品は、県立のスポーツ施設など多くの県民の目に触れる場所に設置し、東京2020大会に県産木材が使用されたことを周知するとともに、県民の木製品に対する興味・関心を喚起し、木材の利活用について広くPR。

■ 資材提供のきっかけ

・森林率84%の高知県では、CLTを用いた建物の建築を推進するなど、木材の利用を積極的に進めており、ビレッジプラザは、国立競技場と同様に大規模建築物に木材が使えるという絶好のPRの場であったことから、高知県からも県産材を用いたCLTを提供することとしたもの。

■ 提供した木材の概要

- ・スギ (CLT) 約31m³

■ 用途

- 木製品への加工

ベンチ：19台

ノベルティ（鉛筆立て）：1,350個

パンフレットラック：18台

デジタルサイネージ：3台

モニュメント：1基

聖火トーチ台：2基

ランタン展示台：1基

- 展示

大阪のアジア太平洋トレードセンター（ATC）の地域産材ショールーム「WOOD MEETS」の高知県ブースにCLT床材を展示

※上記製品加工に使用しなかった木材は、県立高校等へ実習材料としての提供や、他の木製品への加工を予定。

■ 用途決定までのプロセス

利活用案について、庁内関係部局等で構成するワーキンググループで検討。その後、公募型プロポーザル等によりデザインを決定。

■ 完成/使用開始時期

2023年3月

■ 製作・使用したものの設置・建設場所や利用者など

高知県立春野運動公園、高知県立県民体育館、高知県庁西庁舎1階等

※設置場所は調整中含む。

■ 完成まで・完成後のエピソード

・ベンチ、パンフレットラック等のデザインは公募で決定。多くの方に木材の利活用について興味・関心を持っていただくために、県立のスポーツ施設など、広く県民の目に触れる場所に設置。

・また、オリンピック・パラリンピック東京大会に県産木材が使用されたことをPRするために、高知県、香美市、大豊町で「日本の木材活用リレー」事業に参加したことを記念するモニュメントを、返却された木材で統一したデザインでそれぞれが製作し展示。高知県では聖火リレーで使用したトーチ・ランタン等とともに県庁西庁舎1階に展示。

問合せ先

林業振興・環境部 木材産業振興課

電話：088-821-4858

利用状況 写真

ベンチ



ノベルティ(鉛筆立て)



パンフレットラック



トーチ台・ランタン台



モニュメント



利用状況 写真

大阪アジア太平洋トレードセンター内 WOOD MEETS 展示

